

第 55 回インナーゼミナール大会

ゼミ名	村澤ゼミ	チーム名	あわてんぼうのサンタクロース
タイトル	クリスマスケーキの経済学		
テーマ群	a) 理論・情報 g) その他		
メンバー	澤田凜太		
研究計画内容	【研究背景】 現代の消費社会において、クリスマス、バレンタイン、ハロウィンなどの季節性の高いイベントは、家計の消費行動に強い影響を与えている。その中でも「クリスマスケーキ」は、この季節イベントを象徴する特別な財である。多くの世帯にとって年に一度しか購入されないこの財は、経済状況が悪い時でも消費されると考えられる。このことを本研究では需要体系分析を用いて検証する。 【研究内容】 クリスマスケーキが特別な財であることを検証するのを目的として、AIDS モデルを分析手法として用いる。このモデルを用い、各財の価格弾力性や交差価格弾力性を計測し、代替・補完関係を定量的に評価する。分析にあたり、モデルに 12 月を示すダミー変数を導入し、クリスマス期間における需要構造の特異な変化を捉える。使用するデータは総務省『家計調査』を用い、ケーキと他の洋菓子、そしてクリスマスに消費される財の支出額から支出シェアを算出する。また、価格として総務省『消費者物価指数』からそれぞれの財に対応するものを用いる。 【期待される効果】 クリスマスのような季節のイベントが家計の消費にどのような影響を与えるのかを定量的に示すことができる。 【参考文献】 澤田学 「Almost Ideal Demand System と食料需要分析」(『北海道大学農経論叢, 第 37 集』、1981 年、151-182 ページ) 佐藤秀保 齋藤勝宏 「牛乳需要の計量経済分析-QUAIDS モデルを用いた弾力性の推計-」(『農業経済研究, 第 89 巻, 第 3 号 』、2017 年、214-219 ページ)		